

# JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.216)

## 1. 総合防災訓練の実施

東南海地震発生(熊野灘沖)を想定して、安全確保やその後の防災対策本部の設置、被害状況(死傷者、火災、PCB漏洩等の有無)の把握、各関係機関への通報などを行う総合防災訓練を、3月11日(金)に実施しました。

震度6弱の地震発生直後は、机の下に隠れるなど身を守る行動を優先し、JESCOと運転会社の全員が自身の安全確保を図りました。揺れが収まった後は、全員ヘルメットを着用し、新型コロナウイルス感染対策の「3密」を避けながら避難、人員点呼による安否確認を行いました。同時に、防災対策本部と現地指揮本部を立ち上げ、緊急時点検による火災発生、PCB漏洩、及び設備の被災状況等を速やかに確認し、緊急時対応マニュアルに沿った点検指示、報告、記録等の活動訓練を実施しました。



## 2. 豊田PCB廃棄物処理施設 処分期間が終了しました



高濃度PCB廃棄物を保管されている方は、法律(PCB特措法)で、地域ごとに定められた処分期間内に高濃度PCB廃棄物を自ら処分するかJESCOに処分を委託しなければなりません。

豊田PCB処理事業エリアの処分期間は令和4年3月31日で終了いたしました。しかし、現存するPCB廃棄物は適切に処分する必要があります。

豊田PCB処理事業エリアは愛知県、岐阜県、静岡県、三重県です。変圧器・コンデンサー等の高濃度PCB廃棄物が新たに発見されましたら、管轄する自治体と当処理事業所まで至急ご連絡ください。

### 【連絡先】

中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO)  
豊田PCB処理事業所 営業課  
電話:0565-25-3405  
FAX:0565-24-0543

## PCB処理事業紹介シリーズ 第48回

今回は豊田PCB廃棄物処理施設で最も大きい設備、蒸留設備をご紹介します。

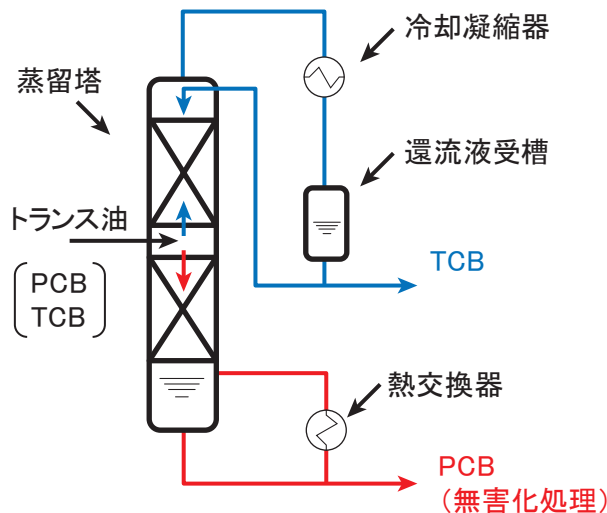
この設備は、液体が沸騰して気体になるときの温度(沸点)の違いを利用して混合物を分離し、別々に回収するための設備です。蒸留設備は、蒸留塔と熱交換器等の補機類から構成されています。蒸留設備の主要機器である蒸留塔について以下に説明します。

蒸留塔に入れられた混合物は加熱することで沸騰します。

低い温度で蒸発する物質(低沸点物)は気体になり蒸留塔の上部に上がって行きます。この低沸点物の気体はその後冷却されて液体として回収されます。

高い温度で蒸発する物質(高沸点物)はほとんど蒸発せず、蒸留塔の下側で液体として回収され次の工程へ送られます。

また、冷却して回収された低沸点物(液体)の一部を蒸留塔の上側に戻し、その気化熱で蒸留塔の上部の温度を下げることで蒸留塔全体の温度を安定させ、分離性能を保っています。



トランス油分離蒸留設備(イメージ図)

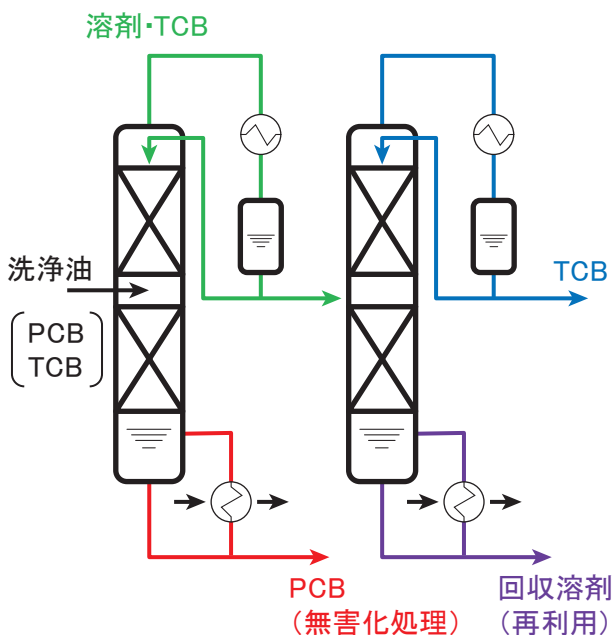
当施設には蒸留塔は全8本あります。その中から以下の蒸留塔についてご説明します。

### (1)トランス油分離蒸留設備

トランスに含まれる絶縁油はPCB60%とTCB(トリクロロベンゼン)40%の混合物です。TCBは低沸点物、PCBは高沸点物です。TCBは蒸留塔の上部から回収されて、産業廃棄物として施設外に搬出されます。PCBは蒸留塔の底部から回収されて、次の工程(液処理)へ送られて無害化されます。

### (2)洗浄油分離蒸留設備

トランス等の洗浄に使用したTCBを含んだ洗浄油(鉱物油=溶剤)はPCBよりも沸点が低いため、先に気体となります。PCBはそのまま液処理へ送られます。また回収した洗浄溶剤は2段目の蒸留塔でTCBと溶剤とに分離され、回収した溶剤は再利用します。



洗浄油分離蒸留設備(イメージ図)



デジ丸

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>